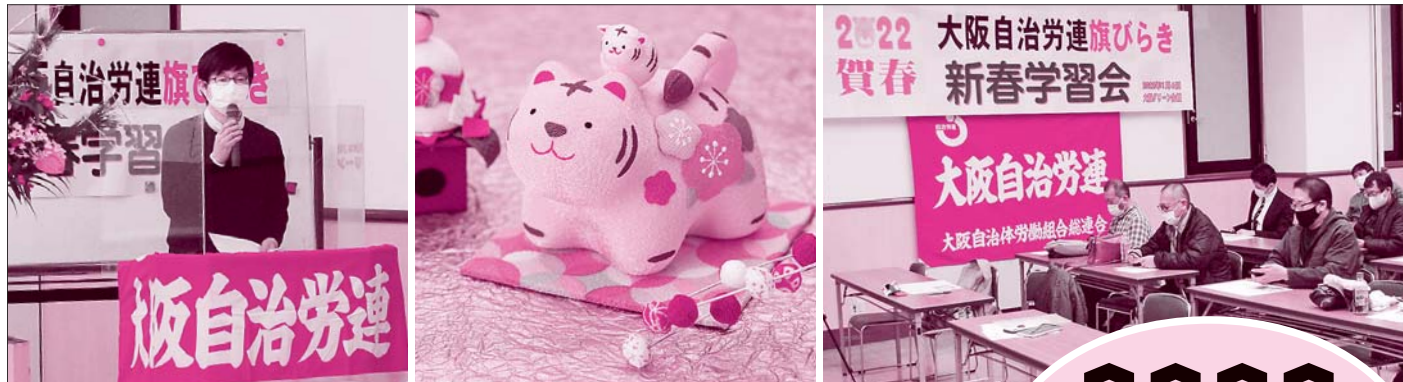




2022
春闘

いのちを守れ くらしを守れ 格差をなくせ 声をあげよう!



新型コロナウイルスの感染拡大から3年目を迎えています。世界の国々や日本国内

の感染は止まる様子はありません。多くの人々のいのちとくらしが壊されてきました。医療、

介護、公衆衛生体制の緊急な改善が必要です。労働者が、労働組合が、声をあげる2022年の幕

開けです。(写真は1月4日に行われた大阪自治労連の旗開き。2・3面に関連記事)



おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合) 2022年1月15日 No.379

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／有田 洋明 編集人／荒田 功
毎月15日発行(1部10円)組合員の購読料は
組合費に含まれています。



トラの絵柄のバッグを持って(撮影時はマスクをはずしています)

書記長 中尾 光恵さん
執行委員 西井 理恵さん
(左) (右)

守口市学童保育指導員労働組合

守口の子どもたちのところへ戻りたい
強く、気高く、たくましくがんばります

今年寅年。「虎は千里行つて千里帰る」や「猛虎」など、元気で威勢のいいイメージのトラ。また、「虎の尾を踏む」は、とても危険なことに手を出すことを意味し、一方、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」では、リスクを冒さなければ成功は得られないことを表しています。今回は、寅年の中尾光恵さんと、西井理恵さんに登場してもらいました。

中尾 今年寅年ですが、それよりも「カンレキ」を迎えることができます。

西井 私は本厄なので健康とかいろいろ気をつけて過ごしたいと思っています。

労働委員会や裁判闘争で多くの激励をいただいた一年

中尾 雇い止めを撤回させ職場に戻るために、労働委員会や裁判で必死にたたかってきました。いろいろなことが起きた一年でしたが、初めて出会った方々や、多くの仲間が励ましてくれました。一緒に怒りたかってくれたことでがんばってこれた一年でした。

西井 はじめてのことばかりでしたが、一緒に働いてきた仲間から、いろんなことを学んだ一年でした。

中尾 うれしいこともあって、初孫ちゃんがついに「ばあば」って呼んでくれました(笑)。

西井 サカナクションのライブ、アデ

プタタワーに大感動しました(感激)。

「ありがとう」を

大切にしたい(西井)

みんなで学ぶことが

大事だと思う(中尾)

西井 私が大切にしているのは「ありがとう」を言うことです。たくさん「ありがとう」に出会いました。いつも感謝の気持ちを言葉にしたいです。

中尾 たたかいは「学ぶこと」が必要だと強く感じています。みんなが集まって学習することの大切さ。法律や労働者の権利、勉強することがいっぱいあります。

職場復帰をめざす
たたかいに支援を

西井 なんとといっても健康に気をつけて、無事に一年を過ごすことが目標です。まだまだコロナ禍がつづきます。元気であることががんばる力だと思います。



元気に「ガオーッ!」

中尾 学童保育の現場に、守口の子どものところへ戻りたいです。保護者の方や子どもたちが応援してくれています。(株)共立メンテナンスが誠実に労働委員会の命令を履行して、職場復帰をめざしてがんばりたいと思います。引き続き支援をお願いします。

〈後記〉

守口市学童保育指導員の雇い止め事件は、昨年11月15日に大阪府労働委員会命令が確定しました。府労委命令は(株)共立メンテナンスが2020年3月末に行った雇い止めは不当労働行為であると断罪し、①10人の復職命令とバックペイ、②団交応諾、③謝罪文の手交とポストノータイスを命じています。

誠実に命令を履行させるたたかいを強め、法令違反を繰り返す大企業の社会的責任を問わなければなりません。